

目的地

例：ヨーロッパ(TS)

目的地は、記載されている国、地域を指します。その後のアルファベット 2 文字はグローバルインディケータ(Global Indicators = GI)といいます。

GI とは IATA で決議されたエリア (TC1,2,3 等) 間においてルートごとに運賃を決める際に使用するコードで、記載されている GI のルートのみ運賃が適用できます。

日本発では下記の GI がポピュラーです。

OFC タリフの IATA 第3地区行(アジア・オセアニア)では EH のみの為、表示は省略してあります。

TC1 : IATA 第1地区行(北米・カリブ・中南米)

PA (via Pacific): 太平洋経由

AT (Atlanctic): 第2地区 ~ 大西洋経由

TC2 : IATA 第2地区行(欧州・中東・アフリカ)

TS (Trans Siberian route): シベリア経由

EH (Eastern Hemisphere): 南回り

RU (Russia): 日本・韓国 ~ ロシア行(ウラル以西) 例 TYO - MOW (直行便利用)

FE (Far East): 第3地区 ~ ロシア(ウラル以西)・ウクライナ行 例 TYO - BJS - MOW (第3地区 - ロシア(ウラル以西)・ウクライナ間直行便利用)

AP (Atlanctic and the Pacific): 第1地区 ~ 大西洋経由 例 TYO - NYC - LON

業界が長い方はアンカレッジ経由: PO が懐かしいですね。

TC3 : IATA 第3地区行(アジア・オセアニア)

EH (Eastern Hemisphere)